生徒指導課だより

－第２号－

～鹿高生が日々の振り返りをするためのエッセンス～

２０１９．６．２６

皆さんは「 凡事徹底 」（ぼんじてってい）という言葉を知っていますか？この言葉は、「何でも無い当たり前のことを、徹底的に行うこと」という意味です。

部活動で例えるなら、基礎練習を毎日欠かさず徹底し、心と技術を磨くことで、より高みに到達できるということになるでしょう。

しかし、凡事徹底は地味なうえに非常に大変であり、継続することはたやすいことではありません。それでも、凡事徹底の結果大きな成長を得ることができると思います。

このことから、私を含めて鹿高生の皆さんには普段の生活の中で何か一つでも「誰にでもできることを、誰にもできないくらい」徹底して取り組み、継続していって欲しいと思います。（公安委員長）

『ご縁』

あなたと私、あなたとこの人、私たちとこの鹿西高校。私たちの周りにはたくさんの人やモノとの関わりがあります。このご縁のおかげで私たちの現在があります。すべてのことが素晴らしいご縁で繋がっています。

人との出会いや・日常の出来事に対して「良い」とか「悪い」などとを考えて、出会いや出来事の善し悪しを決めているのは自分自身なのです。自分たちの出会いや、身の回りでの出来事などの「避けられない現実」に対して自分自身がどのように捉えるかが大切になってきます。「あなたのおかげで」「●●というモノ、施設があるおかげで」と感謝の気持ちで捉えることができたら、日常の小さな幸せにたくさん気づくことができるでしょう。皆さんと出会えるご縁に感謝。校舎や机に感謝。鹿西高校の存在に感謝。

『蒔かぬ種は生えぬ』

「原因がなければ結果はない」反対に、「原因があるから結果がある」という意味の言葉です。皆さんの人生に、どんな種を蒔いていますか？人生では良いときもあればうまくいかない時もあります。それでも、自分を高めたり、周囲の他人のために力を尽くしたり、利己ではなく利他を思った行動、言葉を心がけるときが、良い種を蒔いている瞬間です。良い種（一所懸命、真心）でも、悪い種（怠ける、悪意）でも、蒔いたら育ちます。育った花や実は、すべて自分で刈り取るんです。できる限り多くの「良い果実」（良い結果）を収穫したいですね。

家庭では、挨拶をする、靴をそろえる、自分でできることは自分でする。登下校では、安全に気を配って行動する。他の人の通行の妨げになっていないか心を配る。学校では、クラス内や部活動での自分の役割を果たす。昨日の自分よりも今日の自分の方が知識や精神が高まるように努力する。困っている人は助ける。

わずかな変化と継続が自分を鍛えます。